

平成29年度南相馬市一般会計 当初予算の概要

予算編成方針

平成29年度の
南相馬市の情勢

- 避難指示が解除となり、復興の新たなステージに立ったことを自覚しながら、さらに着実に取り組みを進める年

予算編成の
基本的な考え方

- 行政経営方針に掲げる2つの最重点方針及び3つの重点方針に基づく施策の推進
最重点方針1 「復興事業の優先的実施」
最重点方針2 「旧避難指示区域の再生」
重点方針1 「地域の絆づくりと安心生活の再生」
重点方針2 「未来を担う人を育む環境の充実」
重点方針3 「若い世代の定住の促進」
- 事業工程の精査・切れ目ない事業執行
- ビルド&スクラップ及び事業内容の見直し等
- 東日本大震災復旧・復興基金など各種基金の活用など

「市民みんなで飛躍する年」

新たなステージで復興を着実に進める予算

一般会計予算規模

589億円 (58,943,853千円)

前年度比 ▲434億円 (▲42.4%)

【予算額減少の主な要因】

復旧・復興事業の進展に伴うもの

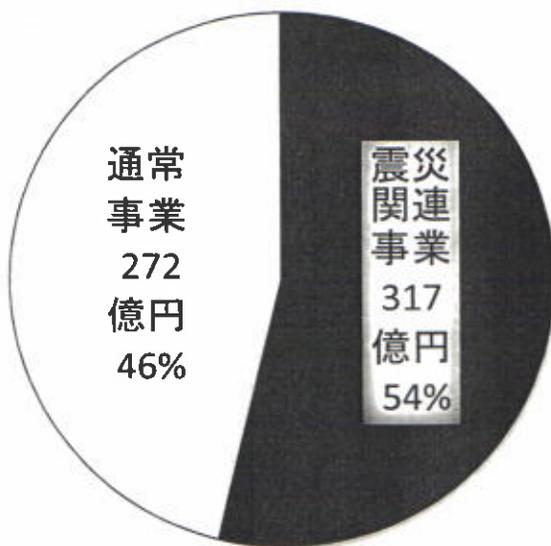
①一通りの除染が完了したことにより、除染関連事業が大幅に減少

・生活圏除染事業	231億円	⇒	0円
・除去土壌等仮置場設置管理事業	207億円	⇒	21億円
・農地除染関連事業	28億円	⇒	0円
・農地除染事業	11億円	⇒	0円

②その他事業の進展によるもの。

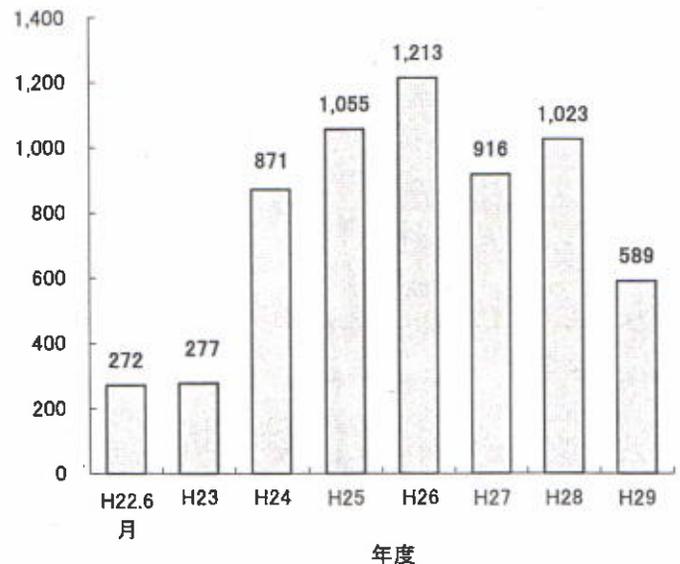
- ・災害廃棄物処理対策事業(生活環境課)
- ・災害廃棄物処理代行事業負担金
- ・防災集団移転促進事業
- ・植物工場整備事業 など

震災関連事業の規模



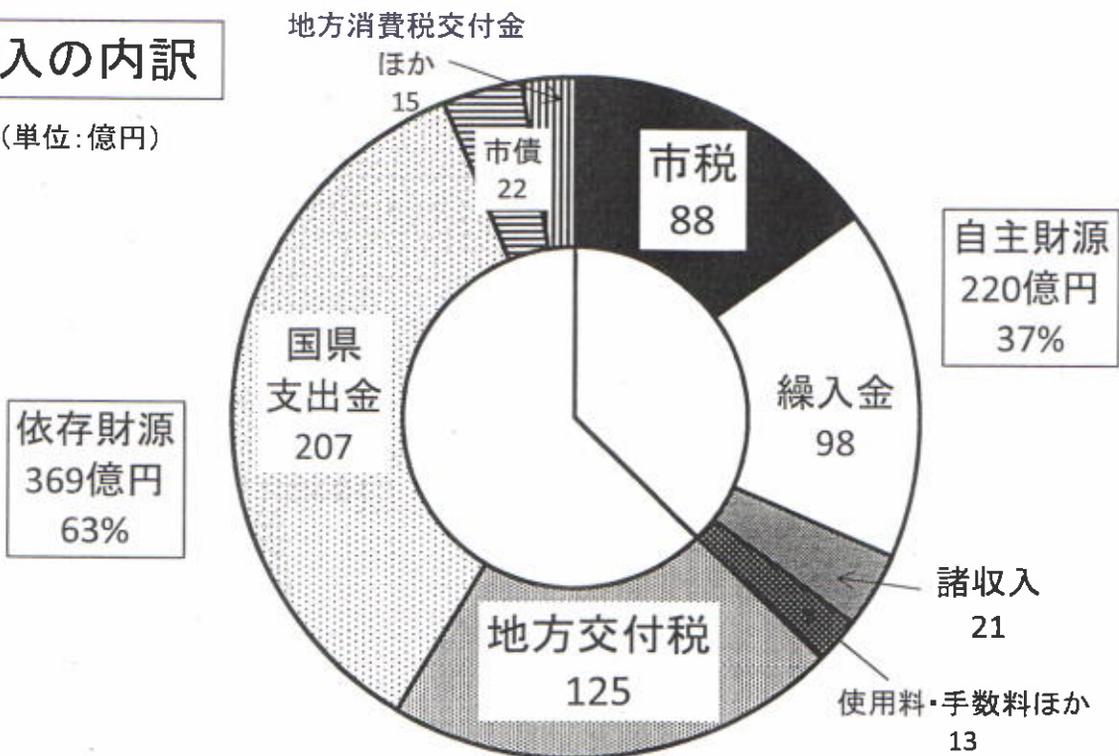
当初予算規模の推移

予算規模: 億円



歳入の内訳

(単位:億円)

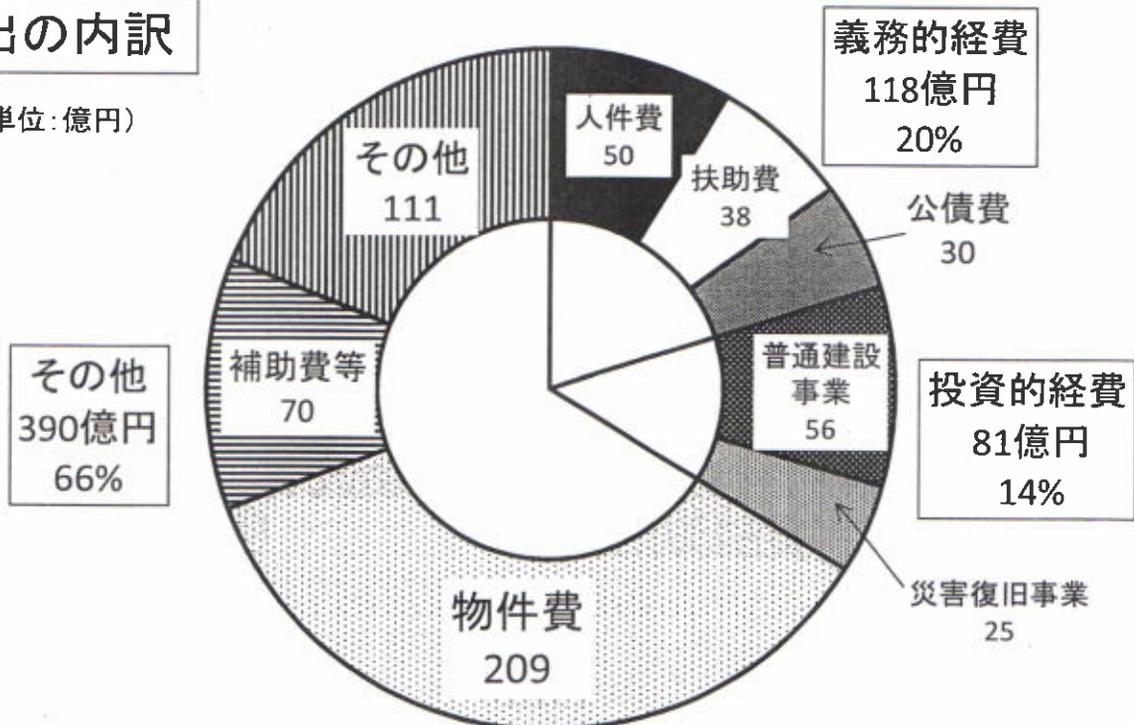


【用語解説】市債: 国や銀行から借りたお金
地方交付税: 国から交付されるお金

市税: 市民税、固定資産税など
繰入金: 市の各種基金から引き出したお金

歳出の内訳

(単位:億円)



【用語解説】補助費等: 主に各種団体に対する助成金など
物件費: 光熱水費や業務委託費など

扶助費: 生活保護、障がい者支援など福祉に使うお金
公債費: 市債の償還元金や利子
普通建設事業: 道路橋梁などの整備改修に使うお金

平成29年度当初予算

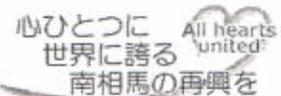
(平成29年3月24日市議会で可決)

市民みんなで飛躍する年

新たなステージで復興を着実に進める予算

平成29年2月27日

福島県南相馬市



はじめに

人口構成

計62,834人 ※平成29年1月31日現在住民基本台帳人口

年少人口
0～14歳
6,559人

生産年齢人口
15歳～64歳
35,810人

老齢人口
65歳以上
20,465人

※市外居住者約9,000人のうち、80%強は64歳以下

求められる取組

- 魅力的な産業・就労の場の確保
- 安心して子育てできる環境整備
- 将来を担う子どもたちが夢や希望を持てるまちづくり
- 高齢者が健康で生きがいをもって生活できる環境整備



最重点方針1 復興事業の優先的実施

「ロボットのまち南相馬」の推進

⑨ 新	ロボット実証実験を行う事業者に対する助成	240万円
⑨ 新	ロボット産業セミナー開催等の施策展開	539万円
⑨ 新	Pepperを活用したプログラミング教育	62万円

人材確保策の推進

⑨ 新	保育士等養成学校訪問、市内合同説明会	155万円
⑨ 拡	介護員養成につき、市外受講者にも助成	1,878万円
⑨ 新	市立総合病院院内保育所の整備	1.5億円
○	公立双葉准看護学院再開に係る負担金	2,100万円



最重点方針1 復興事業の優先的実施

産業の再生と振興

⑨ 拡	6次産業化販路拡大・ブランド構築支援	559万円
⑨ 拡	有害鳥獣ハザードマップの情報提供等対策	7,107万円
⑨ 新	プレミアム付事業再開・帰還促進券発行	5.3億円

再生可能エネルギーの活用促進

⑨ 拡	全中学校に太陽光発電・蓄電池設備導入	3.1億円
-----	--------------------	-------

放射性物質対策の推進

○	事後モニタリング・フォローアップ除染	18.6億円
○	ため池対策工	50億円



最重点方針2 旧避難指示区域の再生

生活環境の整備

- ⑧ 高校再開に合わせた「東町エンガワ商店」の営業時間
拡大 9時～19時 → 7時30分～20時 2,937万円
- ⑨ 河川の除草 2億円

医療体制の確保

- ⑧ 「遠隔診療システム」を活用した在宅診療 174万円
- ⑨ 小高調剤薬局への薬剤師派遣 0円

子育て環境の整備

- 小高区認定こども園の整備 4,217万円
- ⑨ 地域で支える放課後子ども教室 375万円



最重点方針2 旧避難指示区域の再生

小中学校における特色ある教育環境の整備

- ⑨ 地域への理解を深めるための学習推進 310万円
- ⑨ タブレット導入等のICT利活用教育推進 8,691万円

高校生によるまちづくりへの参画支援

- ⑧ ワークショップ、他地域との交流、情報発信等 115万円

魅力ある地域をつくり、移住を促進する取組

- ⑨ 井田川地区の土地活用ビジョン策定 3,088万円
- ⑨ 小高区におけるお試し住宅整備 492万円
- ⑨ 地域おこし協力隊の導入 1,620万円



重点方針1 地域の絆づくりと安心生活の再生

南相馬市

- ④ 復興支援員を活用した市民活動サポートセンターの
体制拡充 2276万円
- 憩いの場となる老人福祉センターの整備 2,272万円
- ④ 従業員の第二種運転免許資格取得費補助等の公共
交通体系構築に向けた取組 125万円
- ④ 運転免許証返納者へのタクシー券の配付等の交通安
全対策 1,126万円
- ④ 空き家等対策協議会の設置、計画の策定 893万円



重点方針2 未来を担う人を育む環境の充実

南相馬市

- ④ 要保護児童対策地域協議会に専門職員を配置
210万円
- ④ 妊娠期から子育て期にわたる支援のための
相談体制構築(子育て世代包括支援センターの設置)
2,272万円
- ④ 助産師会と連携した日帰り・宿泊の産後ケア 140万円
- ④ 原一小・原二小・小高区4小の図書館に学校司書をモ
デル的に配置し、読書や主体的な学習活動を支援
1,556万円
- ④ 宇宙飛行士による講演会 136万円

重点方針3 若い世代の定住の促進

- ⑧ 縁結びサポーター養成等の婚活支援 543万円
- ⑨ 中小企業の新卒就労者及び経営者に対するメンタルヘルスケア等の個別相談・コンサルティング 138万円
- ⑩ 市外からの就職希望者に対する交通費・転居費用の助成 262万円
- ⑪ 若手クリエイターによる情報発信
映像コンテスト「Creative Summer Camp2017」 206万円
- ⑫ みなみそらま復興大学を活用した成果報告会等開催 1,799万円

平成29年度当初予算 589億円

最重点方針 計215億円程度

1 復興事業の優先的实施
「ロボットのまち南相馬」
人材確保策の推進
産業の再生と振興
再生可能エネルギーの活用促進
放射性物質対策の推進

2 旧避難指示区域の再生
生活環境の整備、医療体制の確保、
子育て環境の整備、小中学校における特色ある教育環境の整備、高校生によるまちづくりへの参画支援、魅力ある地域をつくり、移住を促進する取組

重点方針 計約108億円程度

1 地域の絆づくりと
安心生活の再生

2 未来を担う人を
育む環境の充実

3 若い世代の定住
の促進

南相馬市復興総合計画 4つのまちづくりの目標達成へ

- ◎ 逆境を飛躍に変え、元気で活気に満ちたまち
- ◎ 市民生活を取り戻し、地域、世代をつなぎ思いやりあふれるまち
- ◎ 人を育み、郷土を愛し、若い世代が夢と希望をもてるまち
- ◎ 原発事故を克服し、誰もが安心・安全に暮らせるまち

最重点方針1 「復興事業の優先的实施」

○人材の確保策の推進

保育士等人材確保事業 【新規】 155 万円

市内保育所（園）や幼稚園等、教育・保育施設の保育士及び幼稚園教諭の人材不足を解消するため、人材確保に向けた説明会を開催します。

介護員養成事業 【拡充】 1,878 万円

市内介護保険事務所で不足する介護職員を養成・確保し、事務所への就業につなげるため、講座及び面接会を開催するとともに、介護福祉士国家資格の取得を目指す者に対し、実務者研修受講の支援を行います。

○「ロボットのまち南相馬」の定着化

ロボット産業推進事業 【新規】 539 万円

ロボットテストフィールドの整備に向け、市内のロボット産業の盛り上げを醸成するため、国、県及び他市町村と連携しながら、ロボットのまち南相馬に向けた各種施策を推進します。

ロボット実証実験支援事業助成金 【新規】 240 万円

南相馬市内におけるロボット実証実験の実施を促進し、ロボット施策を推進するため、ロボット実証実験を行う事業者に対し、助成金を交付します。

○産業の再生と振興

被災地域農業復興総合支援事業(乾燥調製貯蔵施設) 【新規】 10億306 万円

東日本大震災及び原子力災害により被災した農業者の営農再開を支援するため、大規模乾燥調製貯蔵施設を整備します。

プレミアム付事業再開・帰還促進券発行事業 5億2,850 万円

需要を喚起し被災地域の経済活性化を図ることにより、事業者及び住民双方の帰還促進に資するため、南相馬市全域を対象に事業参加を希望する店舗等で利用できるプレミアム付事業再開・帰還促進券を発行する実行委員会に対し、負担金を支出します。

有害鳥獣被害防止総合対策事業補助金ほか4事業 【拡充】 1億1,551 万円

有害鳥獣被害の防止を図るため、有害鳥獣ハザードマップによる情報提供を行うとともに、狩猟免許の取得・更新及び狩猟の安全教育・技術向上及び防護柵設置に対し、補助金を交付します。

地域ブランド品開発・地域活性化推進事業 【拡充】 559 万円

地元農林水産物や6次産業化商品の販路拡大に向け、消費者ニーズに呼応した商品の開発、南相馬ブランドの構築等の取組を支援します。

○再生可能エネルギーの活用促進

公共施設再生可能エネルギー等導入事業 3億1,233 万円

再生可能エネルギーの推進や、災害時における防災拠点等の機能維持を図るため、公共施設（原一中ほか5校）へ再生可能エネルギー設備及び蓄電池設備を導入します。

○放射性物質対策の推進

農業水利施設等保全再生事業2事業 53億9,280 万円

農業水利施設としてのため池機能を保全し、放射性物質に汚染されたため池内の土砂等の拡散を防止するための調査や対策工を実施します。

事後モニタリング・フォローアップ除染事業 18億6,179 万円

除染効果を確認するため、除染が終了した地域ごとに事後モニタリングを実施するとともに、効果が維持されていない箇所について、フォローアップ除染を実施します。

最重点方針2 「旧避難指示区域の再生」

○生活環境の整備

防災集団移転元地等活用ビジョン策定事業 【新規】 3,089 万円

旧避難指示区域再生のため、防災集団移転元地等を含む地域の土地活用ビジョンを策定します。

お試し住宅整備事業 【新規】 492 万円

本市への移住を希望している者に対し、小高区などでの生活を体験できる機会を提供するため、小高病院の職員公舎をお試し住宅として整備します。

都市公園生活環境整備事業 【新規】 1,697 万円

住民の生活環境の改善を図るため、原子力災害に伴う長期の避難指示に伴い機能が低下した公園施設等の修繕工事を実施します。

旧避難指示区域等河川環境整備事業 【新規】 2億94 万円

地域の防災・防犯対策を図るとともに住民の帰還を促進するため、旧避難指示区域内の河川の除草を実施します。

○買い物ができる環境の確保

小高区仮設店舗開設事業(小高区) 【拡充】 2,937 万円

帰還住民の生活基盤を確保し、帰還促進を図るため、生活必需品等を販売する仮設店舗の管理運営を委託します。

○医療・福祉体制の確保

在宅診療事業(企業会計) 【拡充】 174 万円

来院できない小高区住民に対して在宅診療を実施するとともに、新たに「遠隔診療システム」を導入し、予防医療を推進します。

○子育て環境の整備

放課後子ども教室推進事業 【新規】 375 万円

小高区四小学校の児童を対象に、小学校施設を利用して、勉強や文化活動、地域住民との交流活動等のプログラムを実施します。

○公共交通対策

一時帰宅等交通支援事業 7,000 万円

市内の仮設住宅等や旧避難指示区域内で生活する高齢者等の一時帰宅や買い物、通院等の移動手段を提供するため、ジャンボタクシーを運行します。

○その他

高校生による小高区での実践事業 【拡充】 115 万円

小高区の復興・再生を促進するとともに、本市の将来を担う人材育成のため、地域住民等との協働により高校生が発案した事業を実施します。

過年発生公共災害復旧事業(農地農業用施設)(小高区) 2億3,450 万円

東日本大震災により被災した農地・農業用施設の復旧工事を実施します。

重点方針1 「地域の絆づくりと安心生活の再生」

○健康管理対策の推進

健康意識向上推進事業(特別会計) 【新規】 814 万円
市民が自身の健康状態を確認できる機会を提供するため、公共施設に全自動血圧計及び体重計を設置します。

健康管理支援事業(個人線量計) 【拡充】 1億1,488 万円
健康不安軽減と健康管理のため、個人線量計により外部被ばく線量を測定します。また、放射線専門家等による「放射線健康対策委員会」を開催し、放射線の健康影響を分析検討した内容を市民に情報提供します。

○高齢者が健康で生きがいをもって生活できる環境の整備

老人福祉センター建設事業(原町区) 【新規】 2,272 万円
原町区における高齢者の憩いの場である原町老人福祉センターの新設に向けた業務委託等を行います。

○地域医療・福祉提供体制の充実

総合病院大規模改修事業(企業会計) 【新規】 2億4,321 万円
安心で安全な医療提供を維持するため、緊急改修工事等を実施します。

○公共交通の充実

総合交通体系再構築事業 【拡充】 125 万円
震災の影響によりバスの運転手等が不足していることから、公共交通事業者が必要とする従業員の第二種運転免許資格取得費に対して、補助金を交付します。

○市民活動の活性化

被災者支援団体活動事業補助金 【新規】 4,500 万円
被災者の心身の健康や孤立の防止、コミュニティの構築などの被災者ニーズに応じた活動に取り組むNPO等の被災者支援団体に対し、補助金を交付します。

○暮らしの安全と防災施設の充実

空家等対策推進事業 【新規】 893 万円
市内の空家増加による生活環境の悪化を軽減するため、対策協議会の設置や対策計画の策定を行います。

防災備蓄倉庫管理運営・備蓄物資配備事業 【新規】 1億1,345 万円
災害発生時に必要となる食料、水、毛布等の物資の備蓄と防災備蓄倉庫の管理運営を行います。

重点方針2 「未来を担う人を育む環境の充実」

○妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援体制の構築

児童虐待防止対策事業 【新規】 210 万円

要保護児童対策地域協議会に専門職員を配置し、児童虐待の発生予防、早期発見及び早期対応に努めます。

利用者支援事業(母子保健型) 【新規】 1,178 万円

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため「子育て世代包括支援センター」を設置し、母子保健や育児に関する相談支援事業等を実施します。

○子どもの医療環境の確保

地域医療提供体制整備事業補助金 5,000 万円

市内で不足している小児科専門及び産科の診療所を新たに開設する開業医を誘致することにより、地域医療提供体制を確保します。

○生きぬく力の育成

学校司書配置事業 【新規】 1,556 万円

小中学校の学校図書館において、司書教諭等と連携して自由な読書活動の推進や主体的な学習活動を支援するため、学校司書を配置します。

学習支援事業 【拡充】 5,967 万円

きめ細かな指導の充実を図るため、小中学校に学習支援員を配置します。

夢・みらい発見事業 【新規】 136 万円

各分野で成功を収めた著名人を招聘した講演会を開催し、子ども達が夢を持って挑戦することの大切さについて学ぶ機会を提供します。

○未来を担う地域リーダーの育成

農業経営人材育成事業 【拡充】 361 万円

本市の農業の将来を担う人材を確保するため、「南相馬農業復興チャレンジ塾」を開催し、経営感覚に優れた人材の育成を図ります。

重点方針3「若い世代の定住の促進」

○移住・定住の促進

婚活支援事業 【拡充】 543 万円

定住人口の増加や少子化への対応を図るため、婚活セミナーや結婚相談会等の開催に加え、縁結びサポーターを育成し、出会いや結婚を希望する者への相談対応や、お見合いの仲介などを行います。

地域おこし協力隊活動事業 【新規】 1,620 万円

都市地域から新たな担い手となる人材を受け入れ、活力ある持続可能な地域づくりを推進するため、地域おこし協力隊員を採用し、地域住民等と連携しながら小高区等の活性化のための活動を行います。

UIターン就職支援助成事業 【新規】 262 万円

市内事業所の労働力不足を解消するため、市外からの就職希望者に対し、みなみそうま就職ナビウェブサイトにて求人を掲載している事業所への就職活動に要する交通費や就職した際の転居費用を助成します。

○交流人口の拡大

公衆無線LAN環境構築事業 【拡充】 7,634 万円

観光客の利便性の向上及び災害時における情報発信と情報収集の迅速化を図るため、市内の拠点施設に公衆無線LAN環境を構築します。

みなみそうま復興大学事業 【拡充】 1,799 万円

交流人口の拡大を図り、復興の加速化及び地域の活性化を促進するため、市内での現地調査・研究がより多くの大学によって活発に行われるよう活動支援を行います。

その他「全国植樹祭開催に向けた対応」

全国植樹祭開催推進事業 1,202 万円

原町区零地区の海岸防災林が式典会場となる平成30年春の第69回全国植樹祭の開催に向け、植樹祭開催の気運を高めるため、市主催イベント時にPR活動等を行います。